

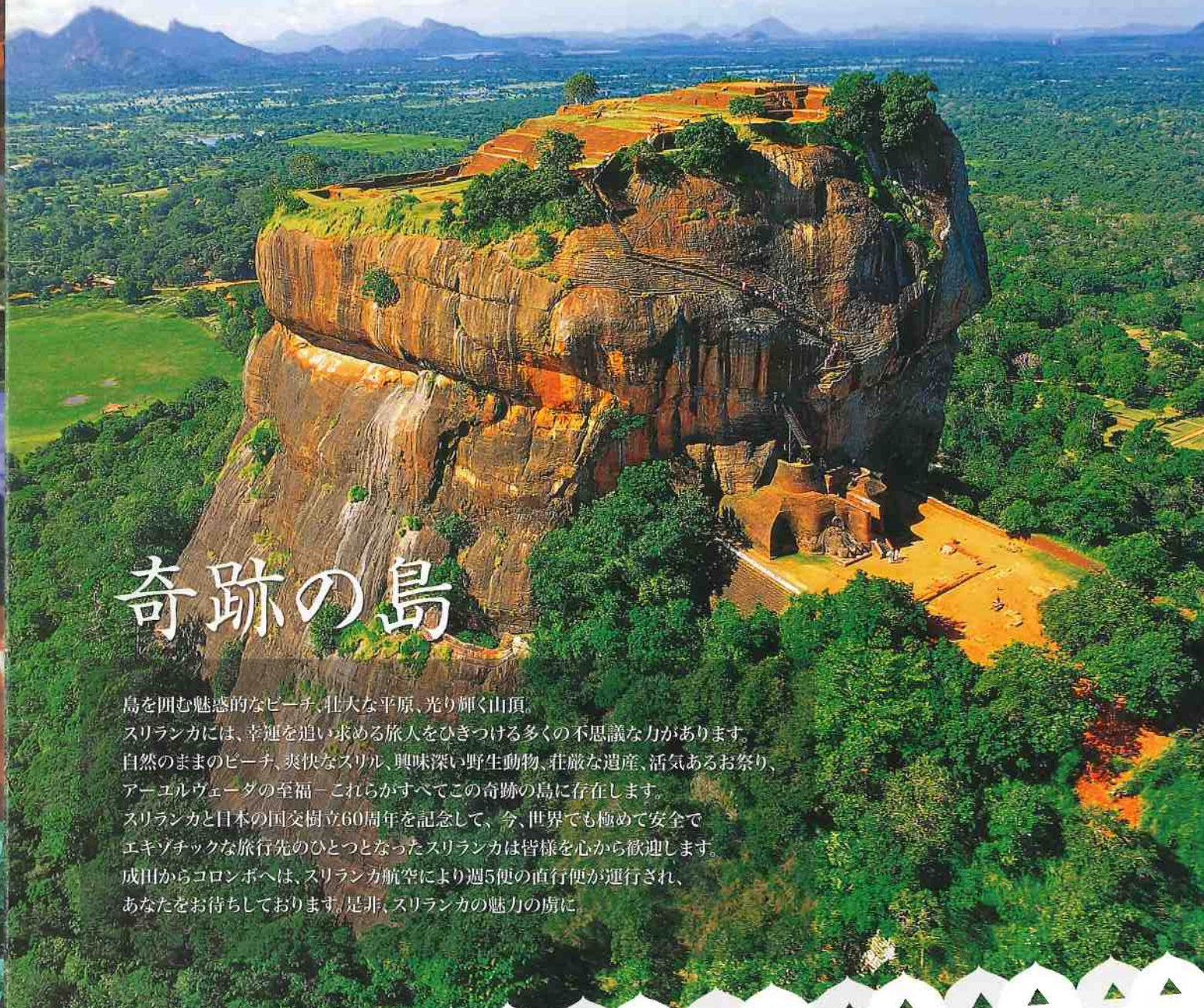
# World Heritage Sites

## スリランカにある 8つの世界遺産



# Sri Lanka

スリランカ



## 奇跡の島

島を囲む魅惑的なビーチ、壮大な平原、光り輝く山頂。  
スリランカには、幸運を追い求める旅人をひきつける多くの不思議な力があります。  
自然のままのビーチ、爽快なスリル、興味深い野生動物、荘厳な遺産、活気あるお祭り、  
アーユルヴェーダの至福—これらがすべてこの奇跡の島に存在します。  
スリランカと日本の国交樹立60周年を記念して、今、世界でも極めて安全で  
エキゾチックな旅行先のひとつとなったスリランカは皆様を心から歓迎します。  
成田からコロンボへは、スリランカ航空により週5便の直行便が運行され、  
あなたをお待ちしております。是非、スリランカの魅力の虜に。

The  
Fortress  
of  
Lions

# SIGIRIYA

シーギリヤ



## 緑豊かな平原の中に突然現れる、巨大な奇岩

シーギリヤは、スリランカ文化三角地帯のダンブラとハバラナ間のイナマルワ・ジャンクションを東へ10キロメートルほど入ったところに位置する古代都市です。シーギリヤを訪れる誰もが圧倒するのは、頂上に広がる標高200mの岩山の迫力。5世紀にカーシャパによって建てられた巨大な要塞、それがシーギリヤ・ロックです。

ひな壇式の庭園を通って見えてくる岩の階段を登ると「ミラー・ウォール（鏡の回廊）」に辿り着きます。自分の姿が映るようになるまで丹念に磨かれた壁であることに由来して、その名がつけられました。ここにはカーシャパの悲劇の物語である叙事詩や初期の訪問者による詩などが彫り綴られています。



## 何世紀にも渡り考古学者たちを魅了した、フレスコ画



岩山の中腹にある美女のフレスコ画（シーギリヤ・レディ）は、スリランカを代表する芸術として広く知れ渡り、スリランカにおける唯一の非宗教的な壁画としても知られています。壁画に描かれた女性の正体については、今なお、さまざまな説が語られています。その中腹から頂上へ続く登山道が、最も険しいですが、頂上からは本当に素晴らしい景色を堪能することができます。かつてのカーシャパ王も、きっとここから同じ景色を見ていたことでしょう。

## スリランカにある世界遺産のひとつ、古代都市シーギリヤの「シーギリヤ・ロック」

スリランカは、美しい自然、歴史的な遺産、自然を思う存分堪能できる他、ひじょうに多くの魅力が凝縮された島国。野生の動植物、心身をともに癒すリラクゼーション、伝統的なスリランカ料理、スリランカ独自の文化が活きるお祭りなど、その他にも様々な魅力が溢れる場所です。

なかでも1982年にユネスコの世界遺産に登録された古代都市シーギリヤの「シーギリヤ・ロック」は、スリランカを訪れるならぜひ足を運んでほしい観光スポットです。

## 名前の由来となった、口を開けたライオンの入り口

宮殿に続く険しい斜面に向かうために通る入り口が、口を開けたライオン（シンハ）の喉（ギリヤ）であることから、「シーギリヤ」と名付けられました。この入り口は、カーシャパの宮殿建設の重要な特徴とされています。ライオンが北を向いてうずくまる姿勢で、遠くから見ると本物のライオンのように見えるように、レンガを厚い漆喰で固めていると考古学者によって推測されています。ライオンの階段は、最も高い場所から、14メートルあったと推測されており、古代に訪れた人々も、ライオンの口を通り抜けて、お腹の中に入っていきような感覚を持ったことでしょう。



シーギリヤの黄金時代は、カーシャパ王の時代でした。カーシャパ王については、諸説ありますが、父であるダートゥセーナ王を殺したカーシャパが亡命した弟のモーゴラーナから王座を奪い、弟からの復讐を恐れ7年間もの歳月をかけてシーギリヤに難攻不落の岩の要塞を築きました。それが、シーギリヤ・ロックです。頂上にはかつて王宮が建っており、噴水やプール、回廊や広いホールもありました。その広さは1.5ヘクタールにも及びます。その後、カーシャパ王は、弟のモーゴラーナ王子が兵を率いて戻ってくる前に自殺したと言われています。

